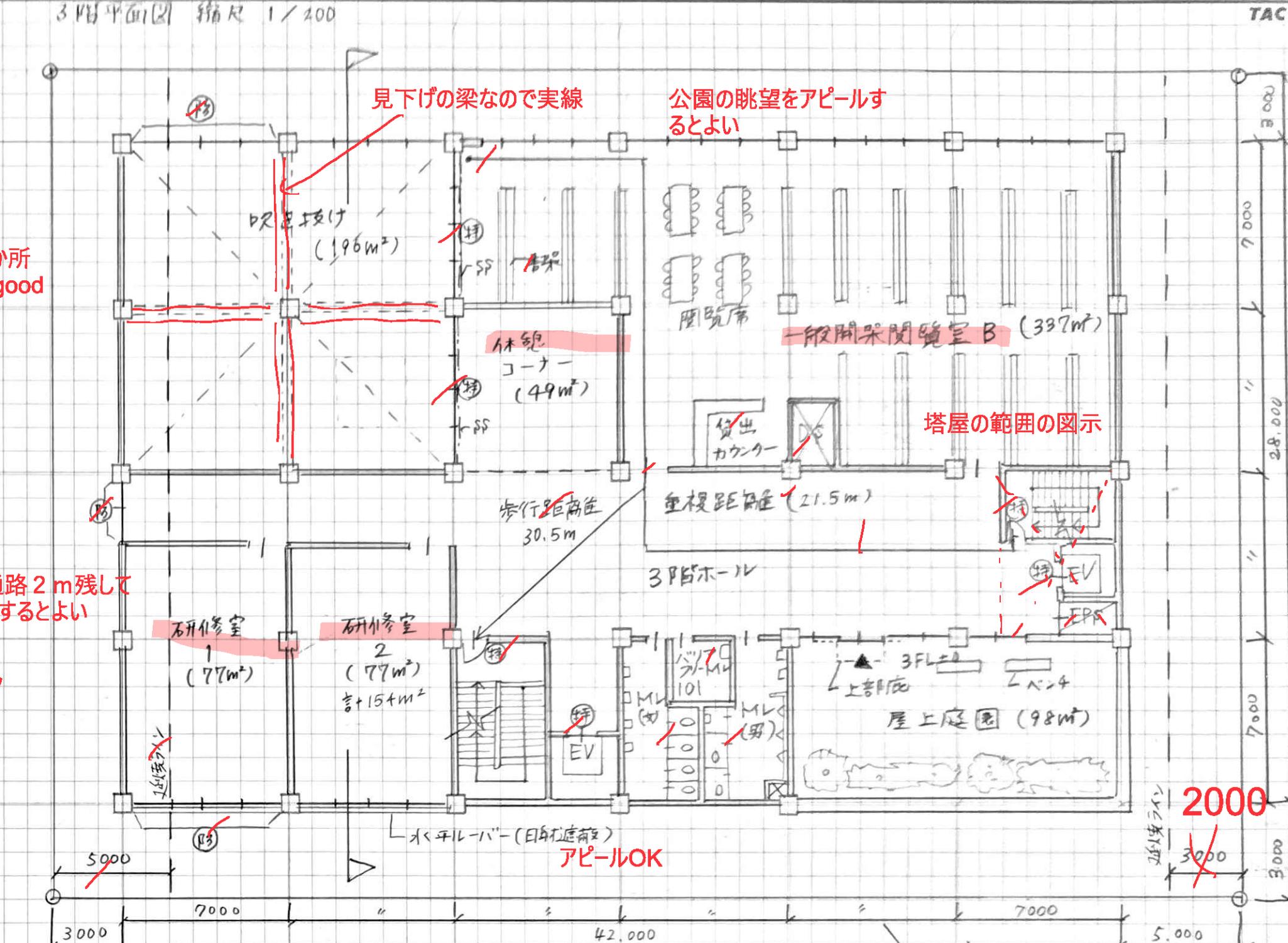


## ⑥ 失格項

室名間違いは欠落扱い（失格）  
なります しっかり問題文をみて轉

寸法は全て記入して下さい  
(近年の標準回答例)

歩道付の道路から  
場に入れると良い

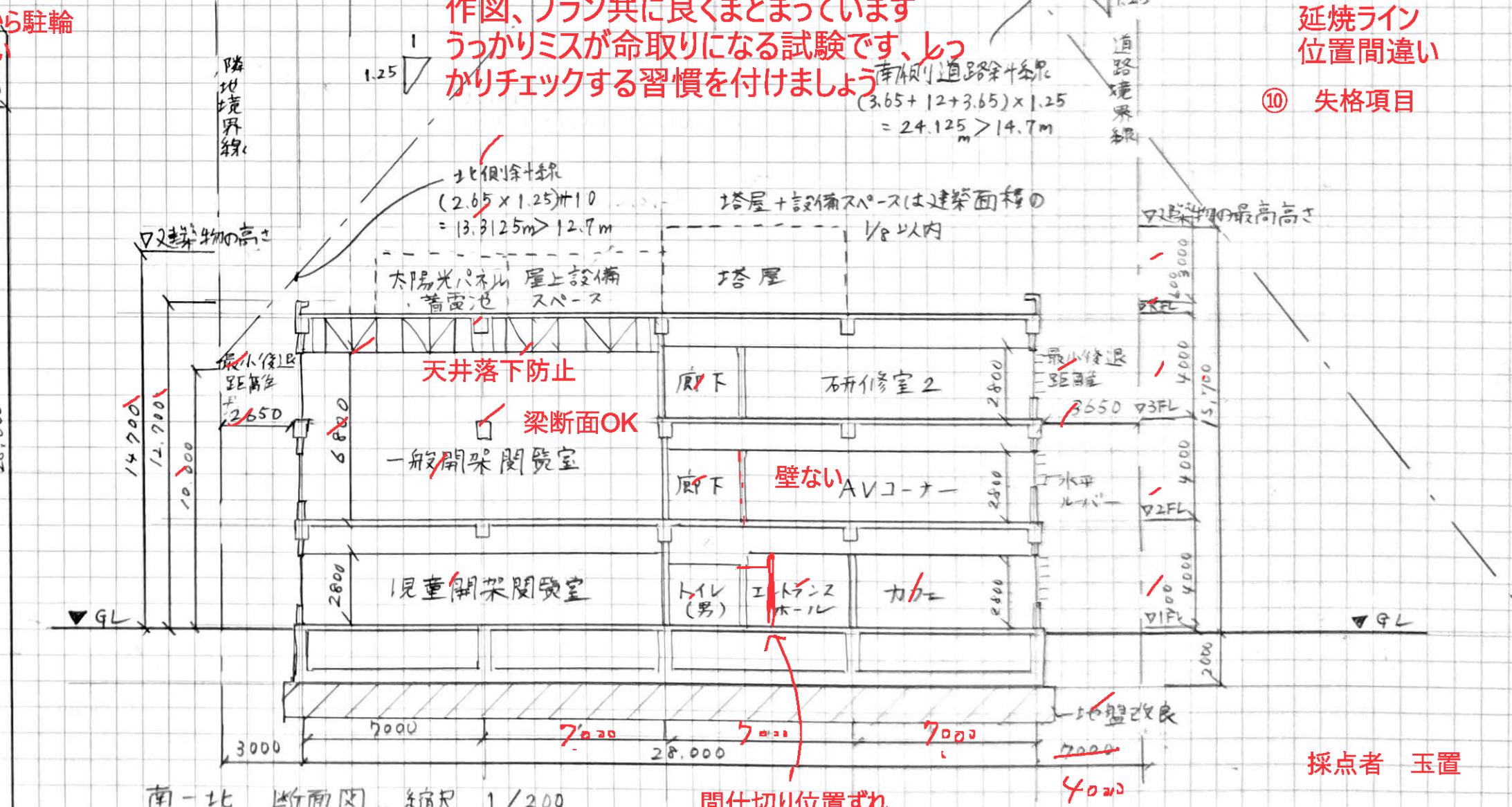


## 作図、プラン共に良くまとまっています

うっかりミスが命取りになる試験です、しっかりチェックする習慣を付けましょう。

## 延焼ライン 位置間違い

## ⑩ 延焼位置間違



## 採点者 玉置

面積表		会員番号	誕生日
床面積	建築面積	氏名	誕生日
3階	$42 \times 28 + 7 \times 1 = 1183.0 \text{ m}^2$	建築面積 1183.0 m <sup>2</sup>	
2階	$42 \times 28 - 14 \times 7 - 14 \times 1 + = 882.0 \text{ m}^2$	床面積の合計	
1階	$42 \times 28 = 1176.0 \text{ m}^2$		
		3234.0 m <sup>2</sup>	

要求図面では表せない建築物の計画上の要点等について、次の(1)~(10)を具体的に記述又は図示する。

## (1) 書籍のセキュリティについて考慮したこと

書籍のセキュリティについては、本の持ち出しを防止するため、1階の風除室前に BDSを設ける計画とした。また、BDSは、事務室のカウンターに近接した位置とすることで、すぐに職員が対応できるように配慮した。

OK

## (2) 北側に公園が隣接する周辺環境を踏まえ、建築計画上特に考慮したこと

北側の公園の景観に配慮し、児童開架、一般開架A及びBの閲覧席は公園側に隣接する位置に設ける計画とし、安定した自然採光を得ることができるように考慮した。

OK

## (3) 一般開架閲覧室の室内の構成(書架、閲覧席等の配置)について考慮したこと

一般開架閲覧室の書架は、椅子使用者等に配慮し、1.8m以上の中幅を開けて配置した。閲覧席は、貸出カウンター横の出入口から見える位置とし、座席の空き状況がわかり、利用しやすいように考慮した。

OK

## (4) 防火区画(面積区画・竪穴区画)をどのように区画形成したかについて、具体的に記述する

【イメージ図記入欄(必ず記入すること)】

防火区画はエレベーター及び階段に特定防火設備を設け区画する計画とした。その際、面積区画を兼ねるものとして、1階～3階それぞれの階の面積が $1500\text{m}^2$ 以内となるように計画した。一般開架閲覧室は吹抜けを含む1室で面積区画とし、ガラス部分は特定防火設備スチールシャッターを設ける計画とした。

OK

OK

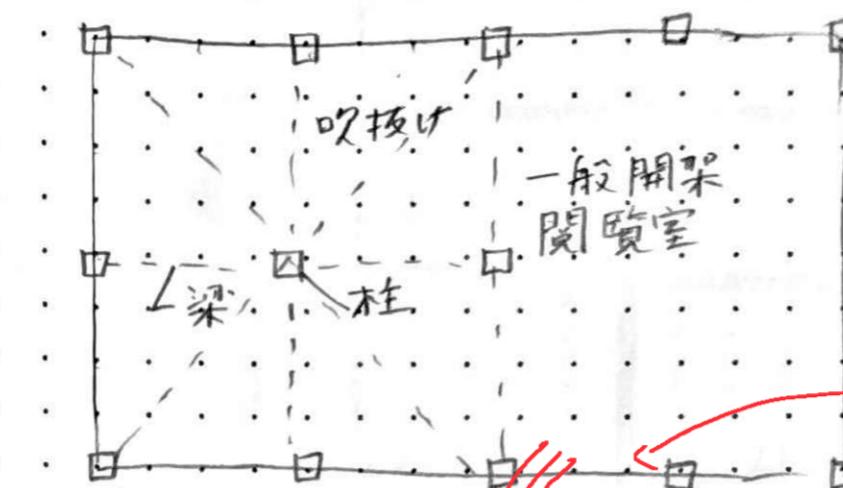
## (5) 採用した基礎構造の形状、基礎底面のレベル、基礎梁の寸法等について特に考慮したこと

基礎構造は安定性の高いべた基礎を採用した。基礎底面はN値=30以上のアーチ層からGL-2.5mとのことから、地盤改良を行ふことにより底面をGL-2mとすることとした。基礎梁の寸法は、建物の重量に耐えられるよう $500\times 2000$ とした。

OK

## (6) 吹抜け部分の構造計画について、特に考慮したこと

## 【イメージ図記入欄(必ず記入すること)】



一般開架閲覧室の吹抜け部分は $14\text{m}\times 14\text{m}$ の正方形で計画し、柱及び大深を残置することで構造が安定するように配慮した。

スラブの補強筋等もアピールとして良い

## (7) 開架書庫の書架の荷重に対して構造計画上特に考慮したこと

開架書庫は書籍の量が多いため、小深の数を1スパンあたり2本配置する計画とした。小深の部材寸法は $350\times 700\text{mm}$ とし、荷重に対し安全な部材となるように配慮した。

スラブの厚さについても書くと良い

## (8) 建築物の空調計画について特に考慮したこと

空調機械室に設けるDSは、直上階に設けることにより、ダクトの屈曲によるエネルギーの損失を抑える計画とした。それとの開架閲覧室の窓に面してスロット型の吹出口を設けることで、インテリアゾーンの温度差をなくし、快適に過ごせるように配慮した。

OK

## (9) 設備機器の維持管理及び機器の更新について考慮したこと

設備機器の維持管理については、空調機械室は外壁に面して配置し、外部に扉を設けることでメンテナンス及び更新に際し配慮した。

OK

## (10) 省エネルギー化の実現及び再生可能エネルギーの導入によるエネルギー自立度を高めるために、建築・設備で配慮したこと(ただし、LED照明、Low-Eガラスに関する記述は除く。)

屋上に太陽光パネル及び蓄電池設備を設けることでエネルギー自立度を高める計画とした。各居室の照明には、日光制御や初期照度制御を設け、トイレ・廊下には人感制御を設けることで省エネに配慮した。

建築計画(パッシブ)デザインについても求められている  
問い合わせに全てバランスよく回答するのがポイント